ボランティア研修

～災害時に
「やさしい日本語」で
伝えよう～

日　時 2020年

3月20日（金・祝）

13：30～16：00

参加無料
定員50名
（申込先着順）

場　所 **大阪国際交流センター 3F 銀杏**（大阪市天王寺区上本町8丁目2-6）

地下鉄「谷町九丁目」駅10番出口 徒歩10分

災害時に「やさしい日本語」を使って外国人に情報を伝える方法について学びます。
「避難」「余震」「高台」など、災害時に使う日本語は、普段の生活では使わない言葉なので、日本語の日常会話ができる外国人にとっても理解が難しく、うまく情報が伝わらないこともあります。
この研修では、災害時に「やさしい日本語」を使って外国人に情報を伝える方法について学びます。普段の書き方、話し方を少し工夫するだけで、外国人だけでなく、みんなに分かりやすく「やさしい」、日本語の表現を身に付けませんか。

やさしい日本語 日本語を勉強中の外国人にも分かりやすい、伝わりやすいよう配慮した日本語のこと

例）

台風の影響で、
JR大阪駅～京都駅間は、
現在運行を見合わせています。

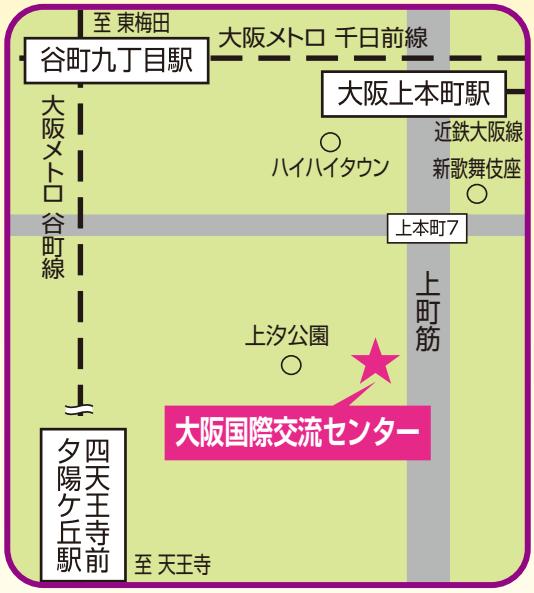
やさしい
→
日本語

台風のため、
JR大阪駅と姫路駅の間は、
今、電車は止まっています。

講　師

特定非営利活動法人 多文化共生リソースセンター東海
代表 **土井 佳彦** 氏

大学で日本語教育を学び、卒業後、留学生や技術研修生らを対象とした日本語教育に従事。同時に、地域日本語教室にもボランティアとして参加。2008年、多文化共生リソースセンター東海を立ち上げに参画し、翌年の法人格取得とともに代表理事に就任。



主　催 **社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会**
公益財団法人 大阪国際交流センター

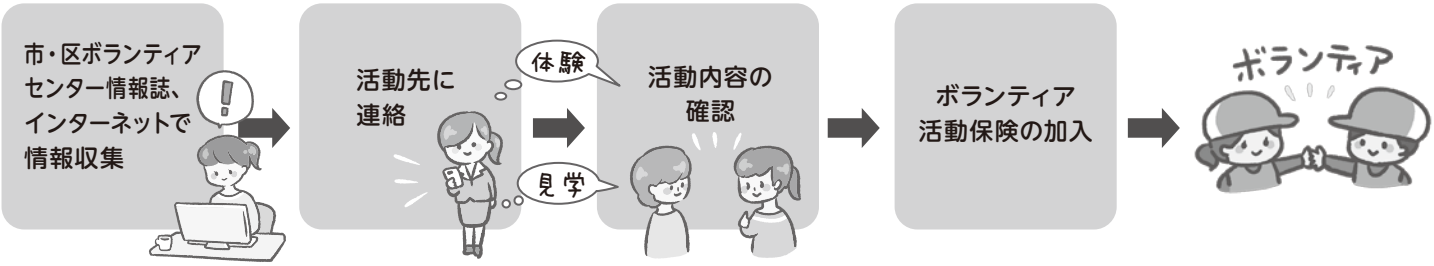
申込方法 お電話またはホームページのメールフォームで
下記迄お申込ください。
受付開始日：2020年2月15日（土）

お問合せ

公益財団法人 **大阪国際交流センター**
〒543-0001 大阪府大阪市天王寺区上本町8−2−6
TEL 06-6773-8989　FAX 06-6773-8421
URL https://www.ih-osaka.or.jp

大阪市社会福祉協議会　ボランティア活動説明

すでにある団体やグループの活動に参加したり、個人で参加したり、仲間とグループをつくって活動するなど、さまざまな参加のかたちがあります。
最寄りの市・区社会福祉協議会のボランティア・市民活動センターで相談できます！



大阪市ボランティア・市民活動センター
大阪市天王寺区東高津12−10 市立社会福祉センター 1階
TEL 06-6765-4041

（公財）大阪国際交流センター　ボランティア活動説明

「アイハウス・ボランティアバンク」は、公益財団法人大阪国際交流センターが設置・運営しているボランティアの登録制度です。大阪を中心にした関西一円において、市民レベルの自発的な国際交流活動を促すことにより、市民一人ひとりの国際感覚の醸成とホスピタリティの向上を図ることを目的としています。

ボランティアの種類、活動内容、資格など

種　類	活動内容 等	資格・備考
ホームステイ・ホームビジット	◆ **ホームステイ** 外国人を一泊以上家庭に受け入れ、日本の家庭生活を紹介することにより、日本の姿を理解し、交流を深める機会を提供する。 ◆ **ホームビジット** 外国人を家庭に招待し、家庭生活に直接触れる機会を提供する。	● 家族全員の理解を得たうえで受け入れることができる家庭。 ● 文化・言語・習慣の違いなどを理解し、特定の国に偏らずに積極的に外国人を受け入れることができる家庭。 ● 積極的にコミュニケーションを図り、柔軟な対応ができる家庭。
通　訳	外国人の来館・電話による各種問合せの際の通訳のほか、財団主催（共催）事業及び財団が紹介する事業において、通訳など、語学面での協力をする。	● 活動を円滑に行える語学力があること。（英語の場合はTOEIC730点、英検準1級以上） ● 活動希望者は語学スキルチェックを受けることが条件。
翻　訳	各種文書・記事・印刷物などの翻訳活動をする。	活動を円滑に行える語学力があること。 当該言語でデータ送受信できる方が望ましい。
災害時通訳・翻訳	災害時に通訳・翻訳活動や、避難所で外国人被災者へのヒアリングを行う。	財団が行う説明会への出席が条件。
技術・技能	外国人への日本語指導や、国際会議の場などにおける日本文化（着付け、茶道・華道・書道など）及び外国文化の専門的技術・技能等の提供を通じて、国際親善を図る。	

公益財団法人 大阪国際交流センター
〒543-0001 大阪府大阪市天王寺区上本町8−2−6
TEL 06-6773-8989　URL https://www.ih-osaka.or.jp